

岡山市にて幼児健診、産婦健診を受診された方およびそのご家族の方へ

—「岡山市の幼児健診及び産婦健診における新型コロナウイルス感染症の影響に関する分析」

へご協力のお願い—

研究機関名 岡山大学

研究責任者 岡山大学学術研究院医歯薬学域 疫学・衛生学分野 頼藤 貴志

1) 研究の背景および目的

新型コロナウイルス感染症ならびにその感染症対策の影響として、行動制限による人との交流の減少など、子どもの発達への影響や産後うつの増加が懸念されていますが、実態についての研究報告は十分ではありません。本研究は岡山市保健所からの委託を受けて、岡山市における幼児健診及び産婦健診のデータを用いて、幼児の発達に関する指標（言語発達など）や産後うつの割合等について経時的な変化をみることで、新型コロナウイルス感染症の影響について現状を分析し、関連するリスクを検討することで、疫学的な知見を提供することを目的としています。

2) 研究対象者

2014年4月1日～2024年3月31日（予定）に岡山市にて幼児健診（1歳6か月児健診、3歳児健診）を受診した方（約11万名）、また2019年4月1日～2024年3月31日（予定）に岡山市にて産婦健診を受診した方（約2万5,000名）を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2026年3月31日

4) 研究方法

岡山市にて1歳6か月児健診もしくは3歳児健診を受診した児を対象とし、言語発達要観察継続児の割合を時系列で記述し、新型コロナウイルス感染症発生後の変化について分析します。また、産後うつについては、産後のEPDS（エジンバラ産後うつ病質問票：Edinburgh Postnatal Depression Scale）合計点数が、30点中9点以上もしくは質問10番が1点以上を陽性とし、EPDS陽性者の割合を時系列で記述し、新型コロナウイルス感染症発生後の変化について分析する予定です。また、関連するリスク要因等についても検討を行う予定です。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、以下の情報を使用させていただきます。データは、岡山保健所にて、既に氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除され、個人が特定できない状態になっています。

- 1) 幼児健診（1歳6か月児健診、3歳児健診）受診者の情報：性別、年齢、既往歴、育児環境、発達状況など
- 2) 産婦健診受診者の情報：母年齢、妊娠届時の情報、出生順位、EPDS（エジンバラ産後うつ病質問票：Edinburgh Postnatal Depression Scale）合計点数など

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学衛生学分野内で保存させていただきます。電子情報は、パスワード等で制御されたコンピューターに保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

ご本人のご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究は氏名、生年月日など個人を直ちに特定できるデータをわからない形にして、論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も皆様に不利益が生じることはありません。

研究内容について、分かりにくい点やご質問等がありましたら下記の連絡先まで遠慮なくお問い合わせください。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学学術研究院医歯薬学域 疫学・衛生学分野
氏名：頼藤 貴志
電話：086-235-7170（平日：9時～18時）

既存情報の提供のみを行う機関

岡山市保健所 保健所長 松岡 宏明